

学校教育目標

〔校訓〕 剛健清楚・和衷協力

1 学校教育目標 ふるさと津田町を愛し、夢に向かってチャレンジする子どもの育成

スローガン 「おもしろいことしよう」

- (1) 学校として育成をめざす資質・能力 探求 ・ 協働 ・ 自律
- (2) めざす児童像 考える子 ・ やさしい子 ・ やりぬく子
- (3) めざす学校像 子どもたちが明るく元気に学ぶ学校
家庭・地域とともに、全教職員が子どものために力を合わせる学校
- (4) めざす教師像 自ら指導力の向上に努め、地域や保護者に信頼される教師
- (5) めざす職員像 自らの役割と責任を果たして学校を支える職員

2 学校経営方針

- (1) 家庭・地域との連携によりふるさと津田町を愛する子どもを育成する。
- (2) 子どもの主体性、自己決定を大切にした学校づくりを推進する。
- (3) ICT を活用して、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善を行い、確かな学力を育成する。
- (4) 教職員が生き生きと働ける職場づくりを推進する。

3 中期的経営目標と方策

- (1) 家庭・地域との連携によりふるさと津田町を愛する子どもの育成
 - ① 学校評価の評価結果に示された改善方策に基づく教育活動等の改善
 - ② 地域の特色（ひと・もの・こと）を生かした教育活動の推進
 - ③ 家庭・地域・関係機関等との連携の強化
 - ④ 安全・安心で信頼される学校づくり
- (2) 子どもの主体性、自己決定を大切に、自己実現が図られる楽しい学校づくりの推進
 - ① 互いを思いやり、協力し合うことの大切さを知る体験活動の充実
 - ② 子どもの主体性、自己決定を大切にした学校行事
 - ③ 津田こども園・さぬき南中学校等異校種間連携や異学年交流の推進
 - ④ 自主的・実践的な態度を育成する児童会活動
 - ⑤ 自分を見つめ、なりたい自分の実現につなげるキャリア教育
 - ⑥ 豊かな体験を通して子どもの内面に根差した道徳性の育成
 - ⑦ 確かな人権感覚を育成する人権・同和教育の推進
 - ⑧ 全教育課程を通じての自己理解・自己管理能力の育成
 - ⑨ 危機管理マニュアルの見直しといじめや問題行動、不登校等の未然防止と早期対応
 - ⑩ さぬきの教員「かかわりの三訓」「授業づくりの三訓」による共通実践
- (3) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善と個に応じた指導の充実による確かな学力の育成
 - ① 「つながり」を大切にした学びや諸活動の推進
 - ② すべての教科・領域における言語活動の充実
 - ③ 子ども一人一人の学びの状況を把握し、個に応じた指導の工夫の展開
 - ④ 繰り返し学習や基礎的・基本的な事項の定着を図る学習の展開
 - ⑤ より良い学習習慣・生活習慣の定着
 - ⑥ 体力づくり・健康教育の推進

- ⑦ 県学習状況調査・全国学力・学習状況調査の結果を生かした教育活動の推進
- (4) 教職員が生き生きと働ける職場づくりの推進
 - ① 校内研修及び校外研修の充実により教員の資質向上を図るための職場環境の整備
 - ② 働き方改革の推進
 - ③ 各職種に応じた適切な職務の執行

4 令和4年度努力事項 家庭・地域との連携（学校運営協議会） ICTの活用 道徳教育の充実

- (1) 家庭・地域との連携によりふるさと津田町を愛する子どもの育成
 - ① 学校評価の評価結果に示された改善方策に基づく教育活動等の改善
 - ② 保護者や地域住民が、学校行事等において様々な形で参加し、協働する教育活動の推進
 - ③ 学校教育目標、教育課程、日常の教育実践についての継続的な情報発信
 - ④ 学校運営協議会の設置による学校運営の改善
- (2) 子どもの主体性、自己決定を大切にし、自己実現が図られる楽しい学校づくりの推進
 - ① 互いを思いやり、協力し合うことの大切さを知る学校行事
 - ② 感染症対策に児童が主体的に取り組む指導の充実
 - ③ 進んで運動したくなる状況づくり
 - ④ あいさつ運動の充実となかよし宣言の活用
 - ⑤ 松原清掃など道徳の日の実践と「考え、議論する道徳」の授業づくり
 - ⑥ 自分を見つめ、なりたい自分の実現につなげるキャリア教育
 - ⑦ 自分の気持ちや相手の気持ちを大切にすることを中心とした人権意識の育成
 - ⑧ 危機管理マニュアルの見直しといじめや問題行動、不登校等の未然防止と早期対応
 - ⑨ さぬきの教員「かかわりの三訓」「授業づくりの三訓」による共通実践
- (3) 主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善と個に応じた指導の充実による確かな学力の育成
 - ① 「つながり」を大切にした学びや諸活動の推進
 - ② 学習活動の工夫による思考力・判断力・表現力の育成
 - ③ 「さぬきっ子学びの三訓」の徹底
 - ④ 個々の児童がどこでつまづいているか、どのようにつまづいているかの把握
 - ⑤ 教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
 - ⑥ ICTを活用した「個別最適な学び」と「個を活かす協働的な学び」の視点での授業改善
 - ⑦ 家庭学習の手引きや生活習慣・学習習慣調べ（にこにこチェック）の結果活用による、よりよい学習習慣・生活習慣の定着
 - ⑧ 違いを認め合える学級集団づくり
 - ⑨ 安全な行動の日常化をめざす安全教育の充実
 - ⑩ 自己ベストをめざし、チャレンジカードの活用など運動習慣の二極化の改善に向けた取組の充実
 - ⑪ 県学習状況調査、全国学力・学習状況調査の結果を生かした教育活動の推進
- (4) 教職員が生き生きと働ける職場づくりの推進
 - ① ICT機器を活用しやすい環境と現職教育の推進
 - ② 業務改善による働き方改革の推進
 - ③ 報告・連絡・相談と確認の徹底によるチーム力の向上